ソーシャルスキルラボ

ラボの課題

岡山理科大学の学生の苦手な対人コミュニケーション場面を調査しトレーニングプログラムを通して
ソーシャルスキルを向上させる

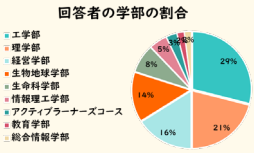
■1年間のスケジュール

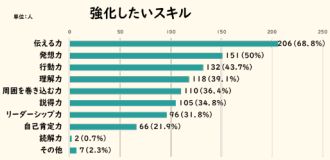
・問題設定　・現状把握　・分析　・開発　・実施　・振り返り

問題設定

■研究テーマの決定
大学生はどのような場面でのコミュニケーションに苦手意識を持っているか

現状把握



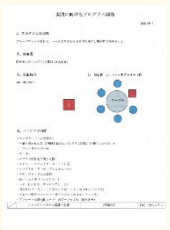


■調査(アンケート実施)
目的：学生がグループワークを苦手と感じる理由と強化したいスキルの明確化
結果：強化したいスキルは，「伝える力」が約70%と最も回答率が高かった

分析

■データ分析
春学期に実施したアンケートを
「KJ法」「KH Coder　テキストマイニング」で分析した
分析結果から，「初対面」「グループワーク」でのソーシャルスキルの向上をプログラム開発の目的とした

開発

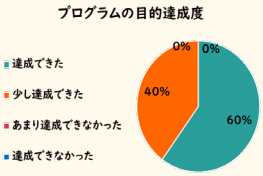


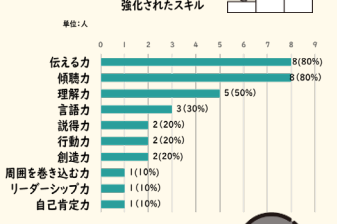
■コンテンツ，プログラム開発
目的：グループワークを通して，伝える能力を強化し，積極性を高める
対象者：初対面同士の学生
方法：SSTトレーニングの実践例の内容分析をもとに開発

実施

■プログラムの実施
プログラムは2日間行った(所要時間：60~90分間)
プログラムは，自己開示や意見を伝えるための他者理解を目的とした複数のコンテンツで構成した

振り返り





■効果性の検証，振り返り
アンケートの結果から掲げた目的に適したコンテンツ
プログラムの開発ができた

さらに追及したいこと：
今回実施したプログラムの効果性をさらに高めるため，さらに参加者を集め
より多くのデータを分析，検討を行いたいと考えています

担当教員：　横山ひとみ　　所属学生：6名
ポスター作製：上岡祐大